

# 常任委員会レポート

## 総務産業委員会

### 老朽配水管の更新を 高台寺浄水場跡地の処分を

令和3年8月4日、所管事務調査を実施しました。

#### 調査事項

##### ①水道管の老朽化に伴う布設替の状況について

鳩山町では昭和46年に給水を開始以来、現在まで約160キロメートルの水道管を敷設してきました。

当初使用の硬質塩化ビニル管、V.P管は、法定耐用年数を迎え、老朽化が進んでいます。

そこで平成29年に老朽管更新基本計画を定め、2017年から2034

##### ②旧高台寺浄水場の処分について

年度の18年間に老朽管の更新を約41キロメートル、事業総額約18億円としていきます。配水用ポリエチレン管を導入しますが、この管は耐震性に優れ、東日本大震災時にも被害はなかったそうです。しかし2020年度までに更新できたのは、約2.5キロメートルで、計画通り進んでいない現状と説明を受けました。委員からは計画通り進まない現状を危惧する意見、内部留保金の運用、広域化や民営化、料金値上げ等の質疑がありました。

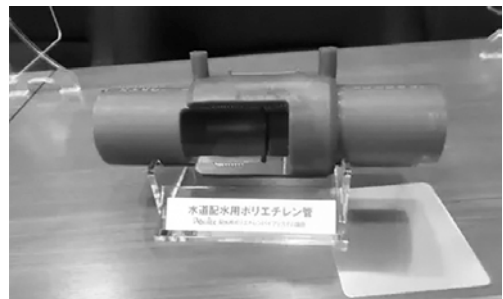
高台寺浄水場は、鳩山ニュータウンの水道水の供給を担ってきましたが、唐沢川の水质悪化により、平成18年度にその役割を終えています。

建設後48年が経過し、内装等にアスベスト部材が使用され、他の用途に使用が困難な施設です。

平成27年11月、近隣住民を対象に処分方針の説明会を実施しましたが、全く進展なく現在に至っています。

令和2年3月策定の鳩山町第2次水道ビジョン並びに鳩山町公共施設等総合管理計画において、売却を含めた有効活用をすると定め、令和3年から4年に具体的な活動計画を策定すると説明を受けました。

各委員からは住民説明会後の進め方に問題があるとの指摘や、早急に施設の処分に向けて具体的な検討を進める必要があるなどの意見、また、アスベストの処理等についての質疑がありました。



配水用ポリエチレン管  
耐震性に優れ、法定耐用年数60年



児童の安全のため、新たに設置されたラバーポール（赤沼地内）

## 福祉文教委員会

### 子どもたちの通学路安全対策

令和3年8月5日、所管事務調査を実施しました。

#### 調査事項

##### 通学路の安全対策について

毎年度、各小中学校から通学路上の問題箇所が提出されています。

今年度は、亀井小学校から6箇所、今宿小学校から11箇所、鳩山小学校から13箇所、鳩山中学校から33箇所が提出されています。新規のものは少なく、ほとんどが継続です。

通学路上の問題は、交通安全担当の産業環境課、道路環境担当のまちづくり推進課、学校教育担当の教育委員会事務局が危険箇所を把握して情報の

共有を行っているとのことでした。

昨年度の通学路点検でリストアップされ、対応を行った箇所は、小用地内では区画線の塗り替え、赤沼地内では区画線の塗り替えと、赤いラバーポールの設置が行われています。また、今宿小学校北側のおしゃもじ通りでは、木の伐採をして、車輛が安全走行できるようにしています。

通学路では交通事故に限らず暗い道や不審者、ブロック塀の倒壊事故など、登下校時には多くの危険を含んでいます。現地確認して、実際に歩いてみる必要があると感じました。